

科目名：精神保健 (Mental Health) 履修年次/時期：1 年次 後期 授業形態：講義	必	1 単位 (45 時間)																
主担当教員：中村仁志（精神科での臨床実務経験や学内、学外での精神障害者の社会復帰へ向けた活動の経験などから学生が自己の精神保健を維持増進するうえで活用できるよう、精神保健上のセルフケア方法を身につけられるような授業を行う。そこから発展させた精神障害に対する考え方の基礎を培う。）																		
学修目的	脳の認知機能やこころの働き・発達・危機状態について学び、看護の対象の人間の理解を深める。社会構造や文化との関連性を含めて様々な場の精神保健・社会病理現象について理解を深める。 CP. 1, 3, 5 に関連する。 科目 No.KNI-136																	
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。 2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。 3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。</td> <td style="text-align: center;">◎</td> </tr> <tr> <td>(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○	(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	◎	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○	(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○																	
(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○																	
(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○																	
(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○																	
(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	◎																	
(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○																	
(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○																	
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○																	
◎：この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○：この講義・演習・実習と関連がある DP																		
到達目標	①脳の構造と認知機能、こころの構造と働き、こころの発達に関する理論を学び看護の対象理解を深める。 ②個人の発達とライフサイクル、家族の機能と発達について理解を深める ③学校・職場・地域における精神保健について説明できる。 ④危機状況・危機理論・対処（コーピング）について説明できる。 ⑤社会病理現象について理解を深める。 ⑥精神保健福祉の歴史と現状について説明できる。 ⑦障害者の権利保護や精神障害をもつ人を守る法・制度について説明できる																	
授業概要	ライフサイクルにおける心の健康に焦点を当て、心の働きを知るための理論（精神分析理論、発達理論、適応理論）や、心の健康の維持・増進を図るための援助について学ぶ。																	
評価方法	本試験 60% レポート課題 40%（レポート課題①～④、10点×4課題） 試験に対するフィードバックは掲示で行う。レポートの評価基準は事前に配布する。																	
予習・復習時間	【予習】 1.9 時間 【復習】 1.9 時間																	
教科書	新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論／精神保健（メチカルフレンド社）																	
参考書	授業内で紹介する																	
お問い合わせ連絡先	中村仁志 9：00～17:00 第3号館3階研究室 h.nakamura@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします。																	

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	<p>【精神保健とは】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.精神保健の概要 2.精神保健のあゆみ 3.こころの理解①脳とこころ、②小児期の発達、③家族・社会との相互作用 4.心身一如 5.予防概念 	<p>【予習】新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論／精神保健（メチカルフレンド社）まえがき、「精神看護学」で学ぶことを読む。</p> <p>【復習】一次・二次・三次予防の概念と具体的例について覚える。</p> <p>【キーワード】 精神、保健、医療、福祉、レジリエンス、首尾一貫 こころのバリアフリー宣言</p>	<p>講義 演習 ○中村</p>
2 (/)	<p>【こころの発達①】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.こころの発達と精神保健 2.発達の原則 3.ライフステージと心身の発達 4.心理・社会的発達 <ol style="list-style-type: none"> ①母子関係発達論 ②フロイトによる精神的発達 ③エリクソンによる心理・社会的発達 ④服部祥子の生涯人間発達 	<p>予習】教科書 p45～p85 を読む</p> <p>【復習】それぞれの防衛機制の具体的例を覚える。</p> <p>レポート①自身の発達段階と課題達成について自己分析し論述準備。400字</p> <p>【キーワード】 ライフステージと発達課題、アタッチメント、愛着理論、対象関係論 フロイトの心の構造と働き、自我の機能、精神力動論、防衛機制、転移 エリクソンの斬新的発達理論</p>	<p>講義 演習 ○中村</p>
3 (/)	<p>【こころの発達②】</p> <p>人格形成としての性 性周期と感情と行動 性価値観の形成と自己体験 おしゃぶり体験、エディプスコンプレックス体験、第2次性徴、空想体験</p>	<p>【予習】自分の、おしゃぶり体験、エディプスコンプレックス体験、第2次性徴、空想体験の有無を思い出す。</p> <p>【復習】レポート①自身の発達段階と課題達成について自己分析し論述。400字</p> <p>【キーワード】 エディプスコンプレックス体験</p>	<p>講義 演習 ○中村</p>
4 (/)	<p>【暮らしの場と精神保健】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.家庭とこころの健康 2.学校とこころの健康 3.職場・仕事とこころの健康 4.地域における生活とこころの健康 5.災害と精神保健 	<p>【予習】教科書 p120～p145 を読む</p> <p>【復習】レポート②の準備</p> <p>【キーワード】 生活機能分類、分離不安、スケジュールアパシー、モラトリアム、青い鳥症候群、ピーターパン症候群、シンデレラコンプレックス、燃え尽き症候群、空の巣症候群、喪失体験、孤独</p>	<p>講義 演習 ○中村</p>

<p>5 (/)</p>	<p>【危機状況と精神保健】</p> <p>1.危機とは何か</p> <p>①危機理論・危機モデル</p> <p>②危機のプロセス</p> <p>2.ストレス</p> <p>ストレスによる心身相互作用 ー.適応と不適応ー</p> <p>ストレス脆弱性モデル</p> <p>3.コーピング</p> <p>4.セルフマネジメント・アンガーマネジメント</p>	<p>【予習】教科書 p150~p170 を読む</p> <p>【復習】理論家とそれぞれの理論概要・具体的内容を結びつける。</p> <p>レポート②看護学生のストレスについて、あなたのストレスマネジメントについて体験をもとに論述400字</p> <p>【キーワード】</p> <p>アギユララ.D.Cの危機回避3要因</p> <p>フィンクの危機モデル、セリエのストレス反応、ホメオスタシス</p> <p>ラザルスのストレス理論と対処理論</p> <p>セルフモニタリング</p>	<p>講義 演習</p> <p>○中村</p>
<p>6 (/)</p>	<p>【精神保健が関与する社会病理①】</p> <p>ドメスティックバイオレンス、ハラスメント、児童虐待、いじめ、ひきこもり、不登校、自傷行為、自殺、アルコール問題、薬物問題、ギャンブル依存</p>	<p>【予習】教科書 p171~p224 を読む</p> <p>【復習】レポート③生活の場のストレス、社会病理、災害ストレスの中から最も印象に残った一つを取り上げ、具体例をもとに論じる。400字</p> <p>【キーワード】</p> <p>左記に準ずる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>○中村</p>
<p>7 (/)</p>	<p>【精神保健が関与する社会病理②】</p> <p>1.法による対策・対応</p> <p>2.地域・民間による対策・対応</p> <p>3.カプランの予防概念</p> <p>4.自殺対策</p>	<p>【予習】提示された資料を読む。</p> <p>【復習】1次予防・2次予防・3次予防の具体的対策を書き出す。</p> <p>【キーワード】</p> <p>1次予防・2次予防・3次予防</p> <p>レジリエンス</p> <p>自殺対策基本法、自殺総合対策大綱、アルコール健康障害対策推進基本計画、ゲートキーパー</p>	<p>講義 演習</p> <p>○中村</p>
<p>8 (/)</p>	<p>【3次予防 ー病院から地域へー】</p> <p>1.精神障害をもつ人を守る法・制度</p> <p>精神保健福祉法</p> <p>2.精神障害をもつ人の地域生活支援</p> <p>①権利擁護</p> <p>②自己決定の尊重</p> <p>③短期入院を目指す</p> <p>④地域生活を支える支援</p> <p>⑤就労支援</p> <p>3.精神保健の展望</p>	<p>【予習】指示された資料を読む</p> <p>【復習】レポート④あなたが考える精神の健康とは何かー根拠に基づき論述する。800字程度</p> <p>【キーワード】</p> <p>精神保健福祉法、心身喪失者等医療観察法、障害者総合支援法、精神保健福祉センター、精神保健福祉相談員、退院後生活環境指導員、ピアサポーター、リカバリー</p>	<p>講義 演習</p> <p>○中村</p>